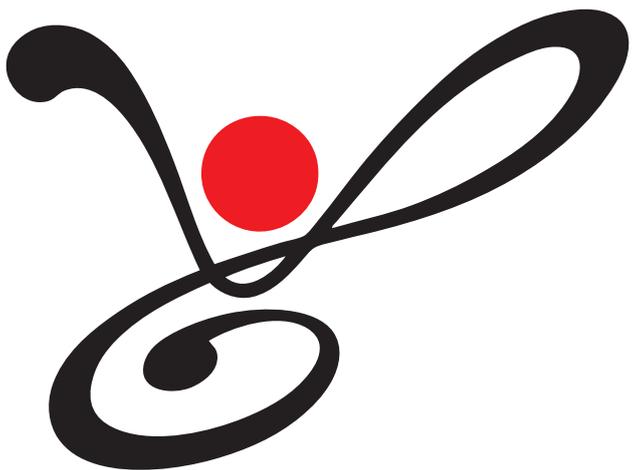


東京フィルハーモニー交響楽団



TOKYO PHILHARMONIC

2026-27 SEASON 2026年1月 ▶ 2027年3月

English Inside

オフィシャル
サプライヤー

SONY

Rakuten Mobile

MARUHAN

LOTTE

ゆうちょ銀行



<p>2026年1月</p>  <p>指揮：アンドレア・バッティストーニ (首席指揮者) ピアノ：五十嵐薫子*</p> <p>シーズンオープニング レスピーギ ピアノと管弦楽のための トッカータ* (日本・イタリア外交関係樹立160周年 /レスピーギ没後90年) マーラー 交響曲第1番 『巨人』</p>	<p>2026年2月</p>  <p>指揮：チョン・ミョンファン (名誉音楽監督) ヴァイオリン：岡本誠司*</p> <p>ウェーバー 歌劇『魔弾の射手』序曲 (ウェーバー没後200年) ブルッフ ヴァイオリン協奏曲 第1番* メンデルスゾーン 交響曲第3番 『スコットランド』</p>	<p>2026年5月</p>  <p>指揮：アンドレア・バッティストーニ (首席指揮者) ソプラノ：高橋 維*</p> <p>シューマン(バッティストーニ編) 『子供の情景』 (世界初演) マーラー 交響曲第4番*</p>	<p>2026年6月</p>  <p>指揮・ヴァイオリン：ピンカス・ズーカーマン</p> <p>モーツァルト 歌劇『フィガロの結婚』序曲 ヴァイオリン協奏曲 第3番 交響曲第40番</p>	<p>2026年7月</p>  <p>指揮：チョン・ミョンファン (名誉音楽監督) カルメン：ステファニー・ドゥストラック ドン・ホセ：マシュー・ポレンザーニ エスカミーリヨ：ニコラ・クルジャル ミカエラ： スラーファ・ザ・メチニーコヴァー 合唱：新国立劇場合唱団 児童合唱：世田谷ジュニア合唱団 ほか</p> <p>オペラ演奏会形式 ビゼー 歌劇『カルメン』 全3幕・日本語字幕付き原語(フランス語)上演 公演時間：約3時間(休憩含む)</p>	<p>2026年8月</p>  <p>指揮：小林研一郎 ヴァイオリン：若尾圭良*</p> <p>メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲* リムスキー=コルサコフ 交響組曲 『シェエラザード』</p>	<p>2026年10月</p>  <p>指揮：チョン・ミョンファン (名誉音楽監督) ヴァイオリン：マキシム・ヴェンゲローフ*</p> <p>シベリウス ヴァイオリン協奏曲* ベートーヴェン 交響曲第7番</p>	<p>2026年11月</p>  <p>指揮：ミハイル・プレトニョフ (特別客演指揮者)</p> <p>プレトニョフ 14の音楽的記憶 (2024) チャイコフスキー 交響曲第4番</p>	<p>2027年1月</p>  <p>指揮・ファゴット：ソフィー・デルヴォー</p> <p>モーツァルト 歌劇『魔笛』序曲 ウェーバー ファゴット協奏曲 (ウェーバー没後200年) ブラームス 交響曲第1番</p>	<p>2027年2月</p>  <p>指揮：チョン・ミョンファン (名誉音楽監督) ピアノ：キム・セヒョン*</p> <p>ベートーヴェン ピアノ協奏曲第4番* (ベートーヴェン没後200年) サン=サーンス 交響曲第3番 『オルガン付き』</p>										
<p>オーチャード定期演奏会 開演15:00/開場14:15 Bunkamura オーチャードホール</p>				<p>サントリー定期シリーズ 開演19:00/開場18:15 サントリーホール</p>					<p>東京オペラシティ定期シリーズ 開演19:00/開場18:15 東京オペラシティ コンサートホール ※託児サービス有り(要予約・有料)</p>										
第1027回	1.25 (日)	第1029回	2.23 (月・祝)	第1031回	5.17 (日)	第1033回	6.21 (日)	第1035回	7.26 (日)	第1036回	8.11 (火・祝)	第1038回	10.18 (日)	第1039回	11.15 (日)				
第1026回	1.23 (金)	第1028回	2.18 (水)	第1030回	5.13 (水)	第1032回	6.18 (木)	第1034回	7.23 (木)	第1037回	10.15 (木)			第1040回	2027. 1.21 (木)	第1041回	2027. 2.24 (水)		
								第175回	7.29 (水)	第176回	8.6 (木)	第177回	10.16 (金)	第178回	11.16 (月)	第179回	2027. 1.25 (月)	第180回	2027. 2.18 (木)

1月 新シーズンの幕開けを飾るのは、**首席指揮者**の**アンドレア・バッティストーニ**。母国イタリアの作曲家レスピーギの珍しい作品と、マーラーの人気曲を組み合わせたプログラムを披露する。**レスピーギ**の『**ピアノと管弦楽のためのトッカータ**』では、2022年に第76回ジュネーヴ国際音楽コンクールで第3位を獲得した**五十嵐薫子**が独奏を務める。一種のピアノ協奏曲ではあるが、トッカータと題されていることから察せられるように、着想源はバロック音楽にある。擬古的な作風をとりつつ、そこに20世紀の感性を盛り込むのはレスピーギの得意技。あたかもパレルワールドの古楽のような新鮮味がある。**マーラー**の**交響曲第1番『巨人』**は、バッティストーニが首席指揮者に就任する前の2014年にもとりあげたレパートリー。オーケストラとの絆を深めた今、さらなる高みを目指す。熱演は必至。

2月 は**名誉音楽監督**の**チョン・ミョンファン**が登場する。ロマン派のドイツ音楽の精華というべき名曲が集められた。**ウェーバー**の**歌劇『魔弾の射手』序曲**は作曲家没後200年を記念した選曲。**ブルッフ**の**ヴァイオリン協奏曲第1番**では、**岡本誠司**が独奏を務める。岡本は2021年に難関で知られるARDミュンヘン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で第1位を獲得。高度な技巧に加えて作品に対する旺盛な探求心の持ち主だ。古今のヴァイオリン協奏曲のなかでも、とりわけ豊麗なロマンに満ちた傑作の魅力をあますところなく伝える。**メンデルスゾーン**の**交響曲第3番『スコットランド』**は、スコットランドへの旅が契機となって誕生した作品。旅先の朽ち果てた礼拝堂が作曲者にインスピレーションをもたらした。マエストロが東京フィルから幻想味あふれる響きを導き出していることだろう。

5月 はふたたび**首席指揮者****アンドレア・バッティストーニ**が指揮台に上る。前半で演奏されるのは、**バッティストーニ**自身の**オーケストラ編曲**による**シューマン**の『**子供の情景**』。今回が世界初演となる。原曲のピアノ曲は有名だが、これをオーケストラで演奏するという発想は新鮮だ。「トイメライ」や「詩人は語る」など、オーケストラならではの表現によって違った魅力が生まれてくるのではないだ

ろうか。作曲家としての顔も持つ**バッティストーニ**がどんなオーケストレーションを施すのか、実に興味深い。今年、第一子をもうけたことが編曲のきっかけになっているのだろうか。後半は**マーラー**の**交響曲第4番**。1月の交響曲第1番『巨人』に続いて、マーラーへの意欲を燃やす。終楽章ではソプラノの**高橋維**が天上の歌をうたう。このうえもなく清澄な音楽に身を委ねたい。

6月 は名匠**ピンカス・ズーカーマン**が招かれる。長年にわたりヴァイオリニスト、ヴィオリストとして、さらに指揮者として世界最高峰のステージで活躍してきた大家が、**オール・モーツァルト・プログラム**で東京フィルと共演する。2025年に続いて今回も「弾き振り」が含まれるのがうれしい。豊潤な美音を堪能できることだろう。モーツァルトがウィーンで絶頂期を迎えていた頃に書かれた**歌劇『フィガロの結婚』序曲**、故郷ザルツブルクで宮廷楽団のヴァイオリニストを務めていた時期の**ヴァイオリン協奏曲第3番**、後期三大交響曲で異彩を放つ短調作品の**交響曲第40番**。この3曲でさまざまな角度からモーツァルトの核心に迫る。とりわけ弦楽セクションにとってズーカーマンとの共演から得られるものは大きいはず。東京フィルがズーカーマンの色に染まる。

7月 は**チョン・ミョンファン**がふたたび登場し、**ビゼー**の**歌劇『カルメン』演奏会形式**を指揮する。マエストロと東京フィルのコンビはこれまでも『ファルスタッフ』『オテロ』『マクベス』など、数々の名作オペラをとりあげてきたが、今回は2020年以來となる『カルメン』。オペラの中のオペラというべき傑作だ。ひりひりするような熱いドラマが会場を沸かしてくれることだろう。チョン・ミョンファンは2027年からはオペラの殿堂、ミラノ・スカラ座の音楽監督をアジア人として初めて務めることが発表されている。そのスカラ座でも『カルメン』の指揮が予定されており、まさに十八番といえる。演奏会形式ならではの雄弁なオーケストラと、充実の歌手陣が一体となって、晩年のビゼーが残した奇跡の名作に向き合う。

2026-27シーズン定期演奏会は豪華出演者陣がそろった。**名誉音楽監督**チョン・ミョンファン、**首席指揮者**アンドレア・バッティストーニ、**特別客演指揮者**ミハイル・プレトニョフの盤石の指揮者陣に加えて、**ピンカス・ズーカーマン**、**小林研一郎**、**ソフィー・デルヴォー**が客演する。ズーカーマンとデルヴォーはソリストも兼ね、「弾き振り」「吹き振り」を披露する。チョン・ミョンフンのビゼー『カルメン』演奏会形式や、バッティストーニによるマーラーの交響曲、プレトニョフの自作自演とチャイコフスキーなど、オーケストラを聴く醍醐味を味わえる名曲がずらりと並んだ。シーズンを通して聴くことで、東京フィルとともに音楽の歓びにあふれた一年を歩みたい。

文＝飯尾洋一(音楽ライター)

8月 は**小林研一郎**が客演する。86歳を迎える「炎のマエストロ」が巨匠の至芸を味わわせてくれることだろう。**メンデルスゾーン**の**ヴァイオリン協奏曲**では2006年ボストン生まれの俊英、**若尾圭良**がソリストに抜擢される。若尾は2021年ユーディ・メニューイン国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門および同年のスタルバーク国際弦楽器コンクールの優勝者。2024年にはアンドリス・ネルソンス指揮ボストン交響楽団と新シーズンのオープニング・ガラコンサートで共演を果たした逸材である。**リムスキー=コルサコフ**の**交響組曲『シェエラザード』**は、小林研一郎の得意のレパートリー。めくるめくアラビアン・ナイトの世界が色彩感豊かなオーケストレーションによって描かれる。コンサートマスターを筆頭に、東京フィルの名手たちの華麗なソロをたっぷりと楽しめるはずだ。

10月 は**チョン・ミョンファン**が協奏曲と交響曲の屈指の人気作を並べたプログラムを指揮する。**シベリウス**の**ヴァイオリン協奏曲**では、2025年秋のヨーロッパ・ツアーでも共演した稀代の名手**マキシム・ヴェンゲローフ**がソリストを務める。華やかな技巧に北欧音楽ならではの抒情性と雄大さが一体となった名演を期待できそうだ。シベリウスのヴァイオリン協奏曲は民族的な舞曲を思わせる力強いリズムカルなフィナーレで曲を閉じるが、**ベートーヴェン**の**交響曲第7番**ではさらなるリズムの饗宴が待っている。エネルギッシュなダンスとほどぼしる情熱が強烈な推進力を生み出し、陶酔的なクライマックスを築く。ベートーヴェンの交響曲はチョン・ミョンファンにとって、くりかえしとりあげてきた大切なレパートリー。一段と深化を遂げた巨匠の今がここに。

11月 は**特別客演指揮者****ミハイル・プレトニョフ**が自作自演を披露する。**プレトニョフ**は指揮者、ピアニストであるのみならず、作曲家でもある。今回演奏されるのは、2024年に書かれた『**14の音楽的記憶**』という小品集。この曲で題材となっているのは、マエストロ自身の幼少期から青年期にかけての音楽的な記憶。2012年に東京フィルの定期公演のために来日した際、リハーサルを見学した

森村学園中等部管弦楽部との交流に触発されて、マエストロが少年期に書き溜めた素材を用いて書きあげられた。大人が聴いても子供が聴いても共感できる作品である。**チャイコフスキー**の**交響曲第4番**はプレトニョフにとって重要なレパートリーだ。チャイコフスキーの音楽を感情的浪漫的な面だけではなく、知的で哲学的な面からもとらえるのがプレトニョフ。忘れがたい名演になるのでは。

1月 2027年1月は「ファゴットの女神」の異名を持つ**ソフィー・デルヴォー**が東京フィル定期にデビューを果たす。ウィーン・フィルの首席ファゴット奏者として、またソロや室内楽でも際立った活躍を見せるデルヴォーだが、近年は急速に指揮者としてのキャリアを積み重ねている。そんなデルヴォーが組んだプログラムは、やはりウィーンの伝統との結びつきを感じさせるもの。**モーツァルト**の**歌劇『魔笛』序曲**で幕を開け、没後200年を迎える**ウェーバー**の**ファゴット協奏曲**では、ソリストと指揮を兼ねた「吹き振り」を披露する。ファゴット奏者の「吹き振り」はかなり珍しい。室内楽の延長のような親密なアンサンブルを聴かせるのは、メイン・プログラムは**ブラームス**の**交響曲第1番**。ウィーン・フィル流のブラームスなのか、それとも独自の個性が発揮されるのか?興味津々。

2月 シーズンの掉尾を飾るのは、**名誉音楽監督**チョン・ミョンファン。締めくくりは華やかだ。**サン=サーンス**の代表作であるばかりでなく、フランスの交響曲の歴史に燦然と輝く傑作、**交響曲第3番『オルガン付き』**が演奏される。巨大な建造物でもというべきパイプオルガンが、オーケストラと一体となって作り出す響きは、コンサートホールでしか体感できないスペクタクルだ。チョン・ミョンファンによるサン=サーンスの『オルガン付き』といえば、パリ・オペラ座バスターユ音楽監督に就任してまもない頃、ドイツグラモフォンに同オーケストラと残した録音が高い。自家業籠中のレパートリーといってもよいだろう。東京フィルの輝かしいサウンドにぴったりの選曲だ。**ベートーヴェン**の**ピアノ協奏曲第4番**では、2025年ロン＝ティボー国際コンクール優勝者の**キム・セヒョン**が独奏を務める。清らかな演奏を期待したい。



東京フィルの 2026-27シーズン

午後のコンサート



出演者のお話つき! リラックス気分で楽しむ名曲アラカルト

“大人の渋谷”で楽しむ

渋谷の午後のコンサート

14:00開演 (13:15開場)

Bunkamuraオーチャードホール



4月19日(日)第29回
指揮とお話:小林研一郎
ナビゲーター:永井美奈子

7月5日(日)第30回
指揮とお話:横山 奏
ヴァイオリン:吉本梨乃*
ゲスト・語り:石丸謙二郎**

9月13日(日)第31回
指揮とお話:円光寺雅彦
チェロ:山崎伸子*

12月6日(日)第32回
指揮とお話:挟間美帆
トランペット:黒田卓也

コバケンの思い出

ブラームス/
ハンガリー舞曲第1番、第5番、第6番
ドヴォルザーク/
交響曲第9番『新世界より』

旅する北欧

シベリウス/交響詩『フィンランディア』
シベリウス/
ヴァイオリン協奏曲より第1楽章*
グリーグ/
劇付随音楽『ペール・ギュント』より**
『新井鷗子の音楽劇台本シリーズおはなし
クラシック①』(アルテスパブリッシング出版)より
ほか

チェロ弾きの休日

スッペ/喜歌劇『詩人と農夫』序曲
メンデルスゾーン(小林幸太郎編)/
無言歌(チェロ・アンサンブル版)*
チャイコフスキー/
ロココの主題による変奏曲*
ドヴォルザーク/交響曲第8番

ジャズに魅せられて

マイルス・デイヴィス(ギル・エヴァンス編)/
『スケッチ・オブ・スペイン』より
『ポーギーとベス』より
チャイコフスキー(エリントン編)/
バレエ組曲『くるみ割り人形』より
ほか
(オーケストレーション:挟間美帆)
※12月7日(月)平日の午後のコンサート
と同演目です。

暮らしに“音楽のご褒美” 平日の午後のコンサート

14:00開演 (13:15開場)

東京オペラシティコンサートホール 託児あり(有料・要予約)



8月12日(水)第41回
指揮とお話:小林研一郎
ピアノ:金子三勇士*
ナビゲーター:朝岡 聡

10月5日(月)第42回
指揮とお話:角田鋼亮
ヴァイオリン:服部百音*

12月7日(月)第43回
指揮とお話:挟間美帆
トランペット:黒田卓也

2027年2月10日(水)第44回
指揮とお話:出口大地
ピアノ:花房晴美*

コバケンのベートーヴェン!

ドヴォルザーク/スラヴ舞曲第1番
ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲第5番『皇帝』*
ベートーヴェン/交響曲第6番『田園』

絢爛たる一族

J. シュトラウスII/喜歌劇『くるまば草』序曲
パガニーニ/ヴァイオリン協奏曲第1番*
服部良一/蘇州夜曲*
服部克久/晩秋のアダージョ*
服部隆之/Les enfants de la Terre~
地球のこどもたち*『世界遺産』メインテーマ曲)
服部隆之/『真田丸』メインテーマ*
ワーグナー/歌劇『タンホイザー』序曲
※10月4日(日)休日の午後のコンサ
ートと同演目です。

ジャズに魅せられて

マイルス・デイヴィス(ギル・エヴァンス編)/
『スケッチ・オブ・スペイン』より
『ポーギーとベス』より
チャイコフスキー(エリントン編)/
バレエ組曲『くるみ割り人形』より
ほか
(オーケストレーション:挟間美帆)
※12月6日(日)渋谷の午後のコンサ
ートと同演目です。

不死鳥が舞う

ベートーヴェン/歌劇『フィデリオ』序曲
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第4番より
第2楽章、第3楽章*
ハチャトゥリアン/バレエ音楽『ガイユ』
よりバラの乙女の踊り~子守歌~剣の舞
ストラヴィンスキー/
バレエ組曲『火の鳥』(1919年版)

愛され続けて27年。 休日の午後のコンサート

14:00開演 (13:15開場)

東京オペラシティコンサートホール 託児あり(有料・要予約)



9月20日(日)第108回
指揮とお話:三ツ橋敬子
ほか

10月4日(日)第109回
指揮とお話:角田鋼亮
ヴァイオリン:服部百音*

11月29日(日)第110回
指揮とお話:円光寺雅彦
ピアノ:清塚信也*

2027年3月7日(日)第111回
指揮:ケンショウ・ワタナベ
チェロ:鳥羽咲音*

秋の大感謝祭~イタリア編~

レスピーギ/交響詩『ローマの噴水』
レスピーギ/交響詩『ローマの祭』
レスピーギ/交響詩『ローマの松』

絢爛たる一族

J. シュトラウスII/喜歌劇『くるまば草』序曲
パガニーニ/ヴァイオリン協奏曲第1番*
服部良一/蘇州夜曲*
服部克久/晩秋のアダージョ*
服部隆之/Les enfants de la Terre~
地球のこどもたち*『世界遺産』メインテーマ曲)
服部隆之/『真田丸』メインテーマ*
ワーグナー/歌劇『タンホイザー』序曲
※10月5日(月)平日の午後のコンサ
ートと同演目です。

なんでもOKストラ!!

ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第3番*
ボンキエリ/
歌劇『ラ・ジョコンダ』より「時の踊り」
チャイコフスキー/イタリア奇想曲
ほか

春、はばたく。

プロコフィエフ/
チェロと管弦楽のための交響的協奏曲
(シンフォニア・コンチェルトンテ)より*
プロコフィエフ/
バレエ音楽『ロメオとジュリエット』より
(ケンショウ・ワタナベセレクション)

2026-27シーズン 特別演奏会

※出演者、曲目、開演時間、チケット料金・発売日等の詳細は、東京フィルWEBサイト等にてお知らせいたします。

新年はクラシックで華やかに!「福袋プログラム」
「お年玉抽選会」「獅子舞い」などでお正月を満喫。

ニューイヤーコンサート2026

1月2日(金)、1月3日(土)各日15:00開演
Bunkamura オーチャードホール
※「ニューイヤーコンサート2027」は
2027年1月2日(土)・1月3日(日)に開催
共催: Bunkamuraオーチャードホール

東京フィル副理事長の黒柳徹子が贈る、
夏恒例のスペシャル・コンサート

ハートフルコンサート2026

8月15日(土) 14:00開演
東京芸術劇場
お話: 黒柳徹子 ほか

管弦楽と歌が織り成す壮大な『歓喜の歌』で、
感動あふれる年末を。

ベートーヴェン『第九』特別演奏会2026

12月13日(日) Bunkamura オーチャードホール
12月18日(金) 東京オペラシティ コンサートホール
12月19日(土) サントリーホール

料金表(税込) / チケット発売日

定期演奏会

2026-27シーズン
定期演奏会
特設ページ



▶ チケット料金

オーチャード定期演奏会(全8回)定期会員券	SS席	S席	A席	B席	C席
	定価	¥96,000	¥56,000	¥47,600	¥39,200
東京フィルフレンズ	-	¥50,400	¥42,840	¥35,280	¥27,720

東京オペラシティ定期シリーズ(全6回)定期会員券	SS席	S席	A席	B席	C席
	定価	¥72,000	¥42,000	¥35,700	¥29,400
東京フィルフレンズ	-	¥37,800	¥32,130	¥26,460	¥20,790

東京オペラシティ定期シリーズ5回券(7月定期を除く)定期会員券	2階バルコニー席 L1・R1列1-22 A席		2階バルコニー席 L2・R2列2-20 B席		3階バルコニー席 L1・R1列1-24 L2・R2列3-22 C席
	定価	-	-	¥29,750	¥24,500
東京フィルフレンズ	-	-	¥26,775	¥22,050	¥17,325

サントリー定期シリーズ(全8回)定期会員券	SS席	S席	A席	B席	C席
	定価	¥96,000	¥56,000	¥47,600	¥39,200
東京フィルフレンズ	-	¥50,400	¥42,840	¥35,280	¥27,720

※G席は7月定期を除く「7回券」となります。定価¥14,000/東京フィルフレンズ価格¥12,600
※G席の新規発売はございません。
※サントリーホールは2027年3月より6か月間、改修工事のため休館となります。

1回券	SS席	S席	A席	B席	C席
	定価	¥15,000	¥10,000	¥8,500	¥7,000
東京フィルフレンズ/ WEB優先発売期間	-	¥9,000	¥7,650	¥6,300	¥4,950
参考:定期会員券フレンズ価格	-	¥6,300	¥5,355	¥4,410	¥3,465

※SS席は割引対象外です。※1回券は定期会員券で残席がある場合のみ販売いたします。
※定期会員は、1回券を優先発売日よりお求めいただけます(右上のチケット発売日に記載)。

▶ チケット発売日

チケット発売日	定期会員券	1回券	
		1月・2月・5月・6月	7月・8月・10月・11月・ 2027年1月・2月
最優先発売 ※お電話のみ受付 賛助会員・定期会員	2025年 11/21(金)10:00	2025年 12/13(土)10:00	2026年 4/4(土)10:00
優先発売 ※お電話のみ受付 東京フィルフレンズ会員	2025年 11/22(土)10:00	2025年 12/20(土)10:00	2026年 4/11(土)10:00
WEB優先発売 どなたでもお求めいただけます	11/22(土)10:00~ 12/8(月)23:59	12/20(土)10:00~ 2026年1/5(月)23:59	2026年4/11(土) 10:00~5/7(木)23:59
一般発売	12/9(火)10:00	2026年1/6(火)10:00	2026年5/8(金)10:00

※1回券は定期会員券で残席がある場合のみ販売いたします。

▶ 定期会員の特典

- 専用指定席** シーズン通して同じお席で聴ける専用指定席券をまとめて確保いたします。
- 特別価格** 定期会員券は、1回券を同じ回数分購入するよりもお得な価格でご鑑賞いただけます。
- 最優先販売** 『第九』等、東京フィル主催の人気公演のチケットを最優先でお求めいただけます。
- 会場のお振替** 同月の他会場定期演奏会へのお振替として、会員様間のチケット交換をおとりまめいたします(一部対象外あり)。
- 各種イベントご案内** 公開リハーサルなどの会員様限定イベントをご案内いたします。
- 翌年シーズンへの最優先継続権** 翌年シーズンも同じお席でお楽しみいただけますよう、お席を最優先で確保いたします。
- チケット割引** 東京フィル主催公演チケットを定価の10%割引でお求めいただけます(一部対象外あり)。

▶ 座席表



オーチャード
定期演奏会



東京オペラシティ
定期シリーズ



サントリー
定期シリーズ

午後のコンサート

▶ チケット料金

午後のコンサート(渋谷/平日/休日 各シリーズ共通)				
4回セット券	S席	A席	B席	C席
定価	¥20,520	¥16,560	¥11,160	¥8,400
東京フィルフレンズ/ WEB優先発売期間	¥18,468	¥14,904	¥10,044	¥7,560
1回券	S席	A席	B席	C席
定価	¥5,700	¥4,600	¥3,100	¥2,100
東京フィルフレンズ/ WEB優先発売期間	¥5,130	¥4,140	¥2,790	¥1,890
参考:4回セット券フレンズ価格	¥4,617	¥3,726	¥2,511	¥1,890

▶ 座席表



渋谷の
午後のコンサート



平日/休日の
午後のコンサート

▶ チケット発売日

チケット発売日	4回セット券	1回券		
		4月・7月・8月	9月・10月	11月・12月・ 2027年2月・3月
最優先発売 ※お電話のみ受付 賛助会員・定期会員	2026年 1/31(土) 10:00	2026年 3/3(火) 10:00	2026年 5/12(火) 10:00	2026年 8/18(火) 10:00
優先発売 ※お電話のみ受付 東京フィルフレンズ会員	2026年 2/7(土) 10:00	2026年 3/7(土) 10:00	2026年 5/16(土) 10:00	2026年 8/22(土) 10:00
WEB優先発売 どなたでもお求めいただけます	2/7(土) 10:00~ 2/24(火) 23:59	3/7(土) 10:00~ 3/16(月) 23:59	5/16(土) 10:00~ 5/25(月) 23:59	8/22(土) 10:00~ 8/31(月) 23:59
一般発売	2026年 2/25(水) 10:00	2026年 3/17(火) 10:00	2026年 5/26(火) 10:00	2026年 9/1(火) 10:00

※1回券は4回セット券で残席がある場合のみ販売いたします。
※優先発売で完売した場合は、一般発売はございません。

東京フィルフレンズ | 入会金・年会費無料で、主催公演チケットを優先発売日より定価の10%割引でお求めいただけます(一部公演・席種を除く)。

入会のお申込みは東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)までお電話、または右記のQRコードからお申込みフォームで送信してください。

当日学生券 | 公演当日に残席がある場合、各ホール当日券販売窓口にて、1,000円で限定数販売いたします(要学生証)。座席はお選びいただけません。

車椅子席 | ご本人様と同伴者1名様まで、1回券のS席の半額でお求めいただけます(要事前予約、ご予約はお電話のみ)。

特別割引 | 障害者手帳をお持ちの方は、1回券の定価の半額(SS席除く)にてお求めいただけます(一部対象外の公演あり、ご予約はお電話のみ)。

※チケットのお渡しの際に障害者手帳をご提示ください。割引は手帳をお持ちのご本人様に限りです。

託児サービス(有料/要事前予約) | 東京オペラシティでの公演では託児サービスをご利用いただけます。

ご予約はマザーズの公式LINEよりお申し込みください。



東京フィルフレンズ
お申込みフォーム



マザーズ
公式LINE

▶ お申込み・お問い合わせ

東京フィル
チケットサービス

TEL **03-5353-9522**

営業時間: 平日10時~18時 定休日: 土日祝日、年末年始
※チケット発売日の土日祝のみ10時~16時営業

<https://www.tpo.or.jp/>

東京フィル
WEBサイト



ご注意 | 未就学児のご入場はお断りしております。やむを得ない事情により、出演者・曲目などが変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、お求めいただいたチケットの払戻・変更等はいたしません。



東京フィルSNS

Join and Celebrate the Tokyo Philharmonic's 2026-27 Season Start!

Join us for the ultimate concert experience by subscribing to our concert series below. You will enjoy the best seats at the best price, priority purchase status, and the flexibility of free ticket exchanges within the same month all season long.

For details, please access our website!



<https://www.tpo.or.jp/en/>

2026-27 Season Subscription Concert Lineup

January Respighi: Toccata for piano and orchestra, and Mahler: Symphony No. 1 "Titan", conducted by Andrea Battistoni (Chief Conductor). Piano: Kaoruko Igarashi.

February Weber: Overture from opera "Der Freischütz" (The 200th anniversary of Weber's death), Bruch: Violin Concerto No. 1, and Mendelssohn: Symphony No. 3 "Scottish", conducted by Myung-Whun Chung (Honorary Music Director). Violin: Seiji Okamoto.

May Schumann (orchestration by Battistoni, world premiere): Kinderszenen (Scenes from Childhood), and Mahler: Symphony No. 4, conducted by Andrea Battistoni (Chief Conductor). Soprano: Yui Takahashi.

June Mozart: Overture from opera "Le nozze di Figaro", Mozart: Violin Concerto No. 3, and Mozart: Symphony No. 40, conducted by Pinchas Zukerman (Conductor & Violin).

July Bizet: Opera "Carmen" (concert style), conducted by Myung-Whun Chung (Honorary Music Director).

August Mendelssohn: Violin Concerto, and Rimsky-Korsakov: Symphonic suite "Scheherazade", conducted by Ken-ichiro Kobayashi. Violin: Keila Wakao.

October Sibelius: Violin Concerto, and Beethoven: Symphony No. 7, conducted by Myung-Whun Chung (Honorary Music Director). Violin: Maxim Vengerov.

November Pletnev: 14 Mémoires musicales (2024), and Tchaikovsky: Symphony No. 4, conducted by Mikhail Pletnev (Special Guest Conductor).

2027

January Mozart: Overture from opera "The Magic Flute", Weber: Bassoon Concerto (The 200th anniversary of Weber's death), and Brahms: Symphony No. 1, conducted by Sophie Dervaux (Conductor & Bassoon).

February Beethoven: Piano Concerto No. 4 (The 200th anniversary of Beethoven's death) and Saint-Saëns: Symphony No. 3 "Organ", conducted by Myung-Whun Chung (Honorary Music Director). Piano: Saehyun Kim.

<https://www.tpo.or.jp/en/concert/2026-27season-en.php>

For details, please access here!



You can select from 3 subscription series at Tokyo's top venues below:

	2026							2027		
	Jan	Feb	May	Jun	Jul	Aug	Oct	Nov	Jan	Feb
Orchard Subscription Series (Shibuya) Start at 15:00	Sun, 25	Mon/ Holiday, 23	Sun, 17	Sun, 21	Sun, 26	Tue/ Holiday, 11	Sun, 18	Sun, 15		
Suntory Subscription Series (Akasaka) Start at 19:00	Fri, 23	Wed, 18	Wed, 13	Thu, 18	Thu, 23		Thu, 15		Thu, 21	Wed, 24
Tokyo Opera City Subscription Series (Hatsudai) Start at 19:00					Wed, 29	Thu, 6	Fri, 16	Mon, 16	Mon, 25	Thu, 18

Venues	Bunkamura Orchard Hall	Tokyo Opera City Concert Hall	Suntory Hall

How do I Subscribe?

Select your favorite series and seat! You can check the price list on our website.

>>>Tokyo Phil Ticket Service 10:00-18:00 JST on weekdays / 10:00-16:00 JST on weekend ticket release days only
+81-(0)3-5353-9522

>>>Tokyo Phil Web Ticket Service
<https://www.tpo.or.jp/en/>



Single tickets are available only in case we have remaining tickets after selling series tickets.

Afternoon Concert series

In Tokyo Phil's "Afternoon concert series," one of our most popular concert series, you will surely enjoy classical masterpieces and fun talk (in Japanese) from conductors and performers who reveal secrets from the music world that you may not have known. You can select your favorite series and seats from *Shibuya* (at Bunkamura Orchard Hall), *Weekday*, and *Holiday* (at Tokyo Opera City Concert Hall) series.

Support the Tokyo Philharmonic

The Tokyo Philharmonic has begun its second century of dedication to the unlimited beauty of classical music from ancient to modern, with an inimitable sound, nationally and internationally renowned, presented in hundreds of concerts every year by one hundred-sixty world class musicians. The music we play is an incomparable joy for us to perform; our audiences find equal joy in listening; and our patrons express it too with their generosity. If you share in the joy of music, please consider joining the club!

<https://www.tpo.or.jp/en/support/>

For more information, please access





Berlin

Philharmonie
フィルハーモニー・ベルリン 10/28
©Evgenia Gapon



Budapest

Müpa Budapest
ブダペスト芸術宮殿 10/30
©Attila Nagy, Müpa

Tokyo Philharmonic Beyond Borders

境界を超えて、音楽を届ける



Toulouse

La Halle aux Grains
アル・オ・グラン劇場 (トゥールーズ) 11/3

Tokyo Philharmonic Europe Tour 2025

Conducted by Myung-Whun Chung, Honorary Music Director



Antwerp

De Singel
デ・シンゲル (アントワープ) 11/1
©Britt Ryckebosch



Vienna

Wiener Konzerthaus
ウィーン・コンツェルトハウス 11/8



Barcelona

Palau de la Música Catalana
カタルーニャ音楽堂 (バルセロナ) 11/6
©ABofill



Lugano

LAC Lugano Arte e Cultura
ルガーノ・アルテ・エ・カルトゥーラ 11/10
© LAC Lugano Arte e Cultura 2025



Düsseldorf

Tonhalle Düsseldorf
トーンハレ・デュッセルドルフ 11/11
©Reinhard A. Deutsch

In Asian countries



Saudi Arabia

Echoes of Eorzea: A Decade of
FINAL FANTASY XIV Symphony
エコーズ・オブ・エオルゼア / サウジアラビア (Nov. 2024)
© LAC Lugano Arte e Cultura 2025



South Korea

KBS Symphony Orchestra &
Tokyo Philharmonic joint concert
KBS響&東京フィル 合同演奏会 / 韓国 (Mar. 2025)
© KBS Symphony Orchestra



Dubai, UAE

InClassica International Music Festival 2025
インクラシカ国際音楽祭 / ドバイ (Apr. 2025)

TOKYO PHILHARMONIC SINCE 1911

創立1911年。日本最古の歴史を誇るオーケストラ、東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホールなどでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、テレビ・ラジオ、インターネット等での放送・配信演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、これまでに4回のヨーロッパ・ツアー、創立100周年記念ワールド・ツアー、アジアでは2005年に日中韓3か国、2015年に東京とソウルの2都市で日韓国交正常化50周年記念コンサートを実施。近年は中東やヨーロッパからも招聘を受けており、2025年秋には名誉音楽監督チョン・ミョンフンとのヨーロッパ・ツアーを実施。各地で絶賛を博すとともに現地日本人学校などでのアウトリーチによる次世代育成にも尽力し、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を、愛知県刈谷市と連携協定を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

In 2026, the Tokyo Philharmonic celebrated its 115th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, Tokyo Phil regularly performs both symphonies and operas. Tokyo Phil is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting the orchestra since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor, and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor. Tokyo Phil has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand musical agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

While Tokyo Philharmonic is a frequent recipient of the ACA National Arts Festival Award in Japan, its recordings have been highly acclaimed internationally, winning the "OPUS KLASSIK 2021" award in the symphonic category (20th-21st century).

Tokyo Phil has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano, and Nagaoka City in Niigata, and also cooperation agreement with Kariya City in Aichi.



フランチャイズ契約を結んでいる、Bunkamuraオーチャードホールにて
At Bunkamura Orchard Hall, franchise partner of Tokyo Philharmonic

©Takafumi Ueno

Conductors

 <p>名誉音楽監督 Honorary Music Director チョン・ミョンフン Myung-Whun Chung ©VIVACE</p>	 <p>首席指揮者 Chief Conductor アンドレア・バッティストーニ Andrea Battistoni Photo: GORZEGNO</p>
 <p>桂冠指揮者 Conductor Laureate 尾高忠明 Tadaaki Otaka 大野和士 Kazushi Ota ダン・エッティンガー Dan Ettinger</p>	 <p>アソシエイト・コンダクター Associate Conductor チョン・ミン Min Chung</p> <p>永久名誉指揮者 Permanent Honorary Conductor 山田一雄 Kazuo Yamada</p> <p>永久楽友・名誉指揮者 Permanent Honorary Member and Conductor Laureate 大賀典雄 Norio Ohga</p>



1911年に名古屋で発足した東京フィルの前身、いとう呉服店少年音楽隊「Ito Kimono」Boys Band, predecessor of the Tokyo Philharmonic, was founded in Nagoya in 1911



新国立劇場などでのオペラ、バレエ演奏
写真：オペラ『ウィリアム・テル』
(撮影：阿部章仁／提供：新国立劇場)
Opera and ballet performances at New National Theatre, Tokyo and venues across Japan
Photo from Opera *Guillaume Tell* at New National Theatre, Tokyo ©Akihito Abe



全国の子どもたちにオーケストラの生演奏を届ける活動を展開
写真：広島県福山市立東小学校／文化庁「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演事業）」
Bringing live orchestra music to children all over Japan
Photo: Higashi Elementary School (Fukuyama city, Hiroshima), supported by Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



全国各地でアウトリーチ活動を実施
写真：コミュニティコンサート
提供：公益財団法人長岡市芸術文化振興財団
Orchestra members conduct outreach activities across the country
Photo: Community concert in Nagaoka City presented by Public Interest Incorporated Foundation, Nagaoka City Foundation for Art and Culture Promotion